

## 令和元年港区総合防災訓練 反省会 議事録

■日時：令和元年11月10日(日) 12時10分～13時40分

■場所：港南中学校3階美術室

■出席者：消防署、高輪消防団、港南小学校、港南中学校、港特別支援学校、運営委員・協力委員、事務局  
含め約47人。

■訓練報告と質疑応答(敬称略)：

### 1. 役割毎の訓練報告

#### 1. 1. 避難受付訓練

【港南防災ネットワーク 神野】

- ・受付は、港南中学校【A】が一番多く、和楽【B】も多めでした。今後も臨機応変に行っていきたい。
- ・資料に英語表記がなく、英語通訳も不在であり苦労した。今後、資料の改善が必要と思う。
- ・放送室に地図が無く、情報伝達時に正確に情報が伝わらない状況があった。次回より放送室に地図を置くこと必要。
- ・港南5丁目も防災訓練に加わっていない。今後は、総合防災訓練に参加頂く様検討が必要に思う。

#### 1. 2. 情報処理・提出訓練

【港南防災ネットワーク 松丸(美)】

- ・今年から新規に、避難受付班より専用の「袋」を受け渡してもらったので、配給班等への情報の正確な流れが実現できた。正確に情報を伝えることができた。
- ・本日は8名で訓練を行ったが、この人数で充分に対応できたいと考えている。

#### 1. 3. 放送訓練

【港南防災ネットワーク 山田】

- ・避難受付班より話が出たが、地図がなく、放送内容が正確でなかった面もあった。
- ・場所を伝える場合、住所ではなくランドマークとなるような建物を用いた方法など、情報伝達の工夫が必要と感じた。
- ・難しい防災用語、例えば、“崩落”など聞き難く、小学生や外国人が分かり難い言葉ではなく、容易な日本語を使うこと必要と感じた。

#### 1. 4. 会場全体案内訓練

【港南防災ネットワーク 斉藤】

- ・会場により来場者の偏りがあった。グラウンドに集中し、小体(格技室)の来場が少なかったので、逐次誘導を行った。
- ・現状の中庭のイベントをグラウンド側に持っていくなど、今後検討しても良いかもしれない。
- ・中学生は、積極的な生徒も、また、消極的な生徒もいた。

#### 1. 5. 防災普及啓発、様々なニーズに対する防災対策・ペットの防災対策・女性の視点に配慮した避難所コーナー・港南防災ネットワーク PR コーナー

【港南防災ネットワーク 土屋・松丸】

- ・生徒は皆優秀なので感心している。防災だけではなく、誰かに教えて貰うだけでは直ぐに忘れて身に付かないが、人を指導する立場に立つからこそ身に付く。

(港南防災ネットワーク PR)

【港南防災ネットワーク 関根】

- ・港区の防災訓練は、中学生が中心に行っていることを伝えた。

・港南防災ネットワークの活動の紹介を行った。準備されたのはパネル4枚で、さすがにこれだけで人を集めるのは難しい。来年は映像の資料を準備するなどの工夫が必要。

・来年はグランド側にコーナーを移動しても良いのではないか。両脇ともにコーナーを作って、挟み込む方法も良い。

・防災ラジオが防災士コーナーに展示してあるので、防災士のコーナーの方に聞きましたら、区からの要請で対応しているとのこと。港南防災ネットワークが対応した方が良いと考える。PRコーナーの内容は今後の課題である。

・港区は防災士を1,000人以上育成しているが、防災士の活用について考えていない。今後、防災士の活用について検討していかなければならない。

・「中学生はよく頑張っている！」という声が多くあった。

#### 1. 6. 応急給水訓練

##### 【港南防災ネットワーク 塚田】

・実施場所が港区設置のスピーカーの真下であり、マイクの音が伝わらなかった。

・軍手が無いと危ない作業もある。本日、軍手は準備していたのだが、女の子が手を切ってしまった。

#### 1. 7. 初期消火訓練

##### 【港南四丁目第2アパート 細谷】

・訓練の基本的な考えからやり直しが必要。小学生の理解が早いのに驚いた。

・実際に初期消火する場合は、水ではなく粉末消火器を使うはず。水と粉末は使用方法も異なる。粉末消火器を用いた訓練を検討すべきと思う。

⇒企業の防災訓練では、粉末消火器の採用について話題に出る場合もある。しかし、コストを考えると現実解ではなく、粉末消火器を用いた訓練が行われることも少ない。：高輪消防署港南出張所所長 江田様

##### 【港南四丁目第2アパート 寺澤】

・今回初めて初期消火訓練に参加した。この訓練では中学生が5人で対応したが、「しっかりしているなあ！」と感じた。今後、港南防災ネットワークと関わってきたい。

・中学生から、「(初期消火訓練に)使用する水が、汚かったらどうするのですか？」との質問があった。消防団から「使わないでください。」との回答があった。

・勉強になった。今後、港南防災ネットワークに関わってきたい。

⇒ぜひ、港南防災ネットワークのスタッフとなってください。：港南防災ネットワーク 小川

#### 1. 8. 簡易担架搬送訓練

##### 【港南防災ネットワーク 南】

・ハンドマイクを使った。小学生は積極出来だった。

・小学校の教員が訓練の目的について説明していた。これは有効であり、これからも継続して頂きたい。

#### 1. 9. マンホールトイレ設置訓練

##### 【港南防災ネットワーク 小山】

・これまでの訓練ではマンホールトイレは目立たないので、見ないで通り過ぎる方が多かった。今回は、マンホールトイレの一つを骨組みのみとして、良く見える様工夫した。これは効果があった。

・最初、声の小さな男子生徒もいたが、だんだん声が大きくなった。

・声をかけて誘導し、訓練の流れを作った。

#### 1. 10. バーナー取扱訓練

##### 【港南防災ネットワーク 渡辺】

・この訓練は3年目。中学生のスキルも随分と高くなった。

- ・優秀な生徒が1名いて、素晴らしい説明を行った。半面、その他の生徒に、積極的な行動が見られなかった。
- ・火を扱うのにその危険性がわからない生徒がいた。実体験が不足しているのだろうと思う。火の上に顔を持って行ったりと、危なっかしい場面もあり、指導した。

### 1. 1 1. 炊き出し訓練

#### 【港南防災ネットワーク 鈴木】

- ・PTAの皆様が手際よくやってくれた。
- ・お子さんの中には、少ししか使っていないビニール手袋を、使用の都度捨てるなどの無駄な動きがあった。もったいないと注意したが、伝わっているかどうかはわからない。
- ・アルハカ米に厚いアルミホイルがはいていた。捨てるのはもったいないと感じたい。

### 1. 1 2. 配給訓練

#### 【港南中学校 PTA 石賀】

- ・配給は4回の予定であったが、7, 8, 9回となった。ある程度纏めるなどの工夫が必要と思った。

#### 【港南小学校 PTA 松林】

- ・ブルーシートの利用が大変で、芝生の上でやってしまった。
- ・配給の番号がシーケンシャルとなっておらず、一部混乱した。  
⇒番号は100番からのシーケンシャル番号となっていた。：港南防災ネットワーク 神野

#### 【高輪消防団第四分団団長 常住】

- ・中庭からグラウンドの通路に、部活用倉庫が出ていて通りづかった。
- ・グラウンドから和楽公園への移動する場合、小学校正門あるいは中学校玄関を経由する必要があり、グラウンドから移動する上でハードルとなっている。案内すると、「だったらいいわ」と言われた。導線の改善を考えた方が良い。
- ・担架訓練と消火訓練は、一般向けと小学生向けの2つに分かれていたが、小学生向けは常に長い列が出来、待ち時間が長かった。今日は、小学生を一般向け訓練に誘導して対応した。訓練内容に差異はなく、分ける必要はない。

#### 【高輪消防署港南出張所所長 江田】

- ・本日は安全管理を中心に行った。先ほど、けが人の話があったが、応急救護は行っているか？  
⇒ はい。救護所に連れて行きました。：港南防災ネットワーク 塚田
- ・水消火の指導方法は幾つかある。一般の方への説明、初期消火の目的の説明を含め、検討していきたい。
- ・粉末消火はコストがかかるので、大勢の方が参加する防災訓練では難しいと考えている。
- ・初期消火訓練の目的は、初期消火の重要性の意識を高めていくこと。水消火訓練はそのための方法と考えている。
- ・火を出しこれを消化するための訓練装置("炎君")もあるので、今後、事務局と実現に向けて協議を重ねていきたい。
- ・本日の総合防災訓練は、大規模な訓練であるにも関わらず、全般として、苦情もなく、転倒もなく、良い訓練であったと考えている。今後も協力していきたい。

### 1. 1 3. 小学校低学年向け訓練(クイズコーナー・バケツ訓練)

#### 【プラリバ 横江】

- ・基本的なことが楽しくできた。防災兄弟はうけなかった。

## 2. 小学校防災ミニセミナー

#### 【港南小学校 PTA 会長 中嶋】

- ・小学校で児童の親向けに防災ミニセミナーを実施した。参加人数は20名弱。小学校から事前アナウンスして頂いた。
- ・浸水や津波の話をした。先日の令和元年第19号台風で発生した高層マンションの地下浸水についても、当地のハザードマップを用いて説明した。港南についても、港区浸水ハザードマップを用いて説明し、状況をご理解頂いた。
- ・アンケートは現状12名の回答があった。オンラインでのアンケートも行っており、さらに回答数は増えると思われる。

・アンケートでは有用なご意見が得られた。「子供たちに繰り返し、防災の話をして欲しい!」、「子供と地域の繋がりを深める取り組みを、これからも進めて欲しい!」など。

### 3. 講評

#### 【港区芝浦港南地区総合支所協働推進課課長 土井】

・実は、80代の方が転倒し脱臼し、会場で医師の診察を受けた。接骨院で骨を戻してもらえば済む程度と聞いているが、現状、慈恵医大病院に搬送している。大事には至らずと考えている。

・このため、本日の訓練での怪我は、指を切った女の子と合わせて2件ということになる。

#### 【東京都立港特別支援学校 柳澤】

・本校から生徒・教員合わせて30名程参加させて頂いた。本校の生徒は実体験が非常に有効であるが、本日は詳しい説明が聴けた上に、実体験が出来て、有効な訓練であった。

・教員にも非常に勉強になった。「うちの生徒にもなにかできるだろうか?！」と今考えているところ。

・本校は都立なので、災害時に避難所としての役割が求められる可能性はあったが、これまで区から避難所開設要請はなかった。令和元年第19号台風の時、初めて区から避難所としての準備をはじめよとの指示があった。

・学校としても、今後の対応について準備を進めている。今後、(各部署の方々に)ご指導頂きたい。

#### 【港南小学校校長 船木】

・小学生にとって、実際に体験できることが一番の学びだと思った。

・中学生の参加人数も増えてきていると思う。港南小学校OBの生徒が活躍しており、小学校の時はおとなしかった生徒が活動している姿を見て、頼もしく思った。

・(地域防災の活動に)今後、小学生をどう活用していくかも考えていきたい。

・港南ネットワークの活動は素晴らしいと思う。地域のために役立つ活動を行って頂いている。

・先日、芝浦小学校の先生からも、「港南の様な活動は直ぐにはできない」というご意見を聞いた。

#### 【港南中学校校長 佐々木】

・地域の活動を中学生が行える様に、これまでやって来た。しかし、今日のお話を聞いて、中学生もまだまだ(努力しなければならぬことがある)と思った。

・本校には数年前に異動となった教員もいるが、生徒とともに学び、生徒と一緒に訓練ができるようになってきた。

・先ほども、3年生に「卒業した後、地域の為に一人一人がどう関わっていくのか考えて欲しい!」と話をした。

### 4. その他の質疑応答

#### 【港南防災ネットワーク 関根】

・先般、白金学園で“炎君”を使った訓練を行っていた。ここも人工芝であったが「ガスバーナーも大丈夫!」と言われた。

⇒ “炎君”は5年程前に、一旦、駄目だという判断となった。その後の経緯はわからないが、再検討が可能だということだと思う。: 高輪消防団第四分団長 常住

⇒ (構造上) “水”で地面回りをガードしているので、“炎君”の周りに樹木などがなければ、使用上問題はない。:

高輪消防署港南出張所所長 江田

#### 【港南防災ネットワーク 斉藤】

・数年前の台風で、天王洲の第一ホテルのウッドデッキが流されたことがあった。そのため、先日の令和元年第19号台風の時、土嚢を積み上げるとなどの対応が必要ではないかと状況を視ていた。(地域防災の活動として、)今後は、この様な事も考えていかないといけない。

#### 【光シャンブル 高桑】

・参加者は年配の方が多かった。一方、港区の方は若い人が多い。このため、年配の方への配慮が十分ではなかった。

・説明時の声の大きさ、速さ、聞き易さなど年配の方を考慮することが必要。ハンドマイクの利用も必要だと思う。また、説明のポイントを記載したパネルを準備するなど工夫が必要。次回は準備して欲しい。

以上